

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 心房細動のアブレーション後の患者予後の評価』

研究機関名: 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者: 循環器内科 職位・氏名: 講師・小池 秀樹

【試料・情報の利用目的】

心房細動のカテーテル治療(アブレーション)を受けた患者さんのカルテや臨床のデータを研究に用います。取得した情報は心房細動のカテーテル治療(アブレーション)後の患者予後や不整脈の再発との関連を説明することを目的とした研究に利用します。適正な患者さんの選択とアブレーション治療術後の生命予後の改善を目指しており、この研究で得られる成果は、アブレーションの治療成績の向上や術後経過の改善につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

東邦大学医学部倫理委員会の承認を得た時点

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

【試料・情報の取得方法】

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2015年1月1日～2025年3月31日までに東邦大学医療センター大森病院循環器内科において、カテーテルアブレーション治療を受けた方

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータや画像のデータなどを解析します(下記)。

収集データ(診療録や画像サーバーなどからの抽出)

1.臨床データ: 年齢・性別・体重・身長・既往症・服薬歴・採血検査・心電図・ABL時の治療内容・治療後の経過

2.画像データ: 心臓超音波検査、心臓CT/MRIによる心臓の解剖学的評価や機能評価

* 主要評価項目でABL後の脳塞栓症を評価する。ABLの術前評価でCT/MRIによる血栓の有無や心耳の解剖学的評価を行っている患者がいる。その際に臨床上で得られたデータのみ使用する。画像および、心機能のデータ評価との関連性を検討する。

<アウトカム>

主要評価項目：

1. カテーテル治療(アブレーション)後の全死亡率+心不全入院率+新規脳梗塞塞栓症の発症率との関連性

副次評価項目：

1. 心不全を示す臨床的所見(血液検査データ、心エコー図データ、心電図)の改善
2. 心房細動の再発と臨床および CT/MRI など画像データの関連性について

【研究組織】

研究機関名：東邦大学医療センター大森病院

研究責任者： 循環器内科 職位・氏名： 講師・小池 秀樹

【利用する者の範囲】

研究機関名：東邦大学医療センター大森病院

研究責任者： 循環器内科 職位・氏名： 講師・小池 秀樹

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 准教授・藤野 紀之

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 助教・和田 遼

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 院内助教・菊島 朋生

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 院内助教・佐々木 英人

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 院内助教・鈴木 琢途

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 助教・八尾 進太郎

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 助教・矢野 健介

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 院内講師・篠原 正哉

研究分担者： 循環器内科 職位・氏名： 教授・池田 隆徳

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

研究機関名：東邦大学医療センター大森病院

研究責任者： 循環器内科 職位・氏名： 講師・小池 秀樹

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025 年 8 月 31 日までに、下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、すでに亡くなられた場合や認知が低下している方に関しては、三親等以内を代諾者とし、情報の利用を希望しない旨の連絡があった際には対象から除外致します。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

循環器内科

職位・氏名

講師・小池秀樹

電話:03-3762-4151

内線:77741